

授業科目(ナンバリング)	精神保健福祉の原理 I (DB205)			担当教員	齊藤 晋治		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本科目では、精神保健福祉士の専門性について、ディプロマポリシーにある深い専門的知識を身につけることを念頭に置きつつ下記の学びを深める。</p> <p>① 「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み（理念・視点・関係性）について理解する。</p> <p>② 精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。</p> <p>③ 精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。</p> <p>④ 精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。</p> <p>⑤ 現在の精神保健福祉士の基本的枠組み（理念・視点・関係性）と倫理綱領に基づく職責について理解する。</p> <p>⑥ 精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。</p> <p>⑦ 近年の精神保健福祉の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。</p>							①②④⑤⑥⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	精神保健福祉士の役割や専門性について説明できる。 精神保健福祉士の業務について、多職種との違いを指摘できる。 権利擁護の概念とその課題について理解できる。 多職種連携・チームアプローチの意義について理解できる。				定期試験	60%	
情報収集、分析力	精神保健福祉分野の現状と課題を理解し、問題点を指摘できる。 課題に対して必要な情報を収集し、適切に使用することができる。				レポート課題	20%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	グループディスカッションにおいて、互いの立場を尊重し、課題解決に向けて協働できる。 精神保健福祉分野の課題について、解決に向けた方策を提案できる。				授業への取組み 小テスト	10% 10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は、定期試験 60%、レポート課題 20%、授業への取組み 10%、小テスト 10%の配分で行う。試験は、選択形式と記述形式で問う。小テストは、毎回の授業終了時の小テスト（コメントカード）の内容を評価する。授業への取組みについては、授業中に課す課題の提出状況、授業中の受講態度、発言内容等を評価する。なお、小テスト（コメントカード）の内容については翌週の授業にて、授業中の課題については当日の授業内にて適宜フィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>教科書の内容をもとに、精神保健福祉士としての実践力育成のため、毎時間ペアワークやグループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションなどを取り入れ、講義内容を踏まえた問題解決型の授業を基本とする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟「最新・精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の原理」中央法規出版 2021 参考書：適宜提示する。 指定図書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟「最新・精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の原理」中央法規出版 2021</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							

授業で扱う教科書の該当ページについては、事前によく読み、疑問点をまとめた上で授業に臨み、授業で扱った内容について各自で十分に復習しながら、学習の積み残しがないように取り組んでもらいたい。また、日頃から精神保健福祉分野の問題に関心を持ち、関連するボランティア活動等に積極的に参加するなどして、現状についての具体的なイメージをもってもらいたい。

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 精神保健福祉士の業務	本講義の進め方や評価方法について確認する。 精神保健福祉士の業務について紹介する	精神保健福祉士の役割について理解する
2	<u>障害者福祉の理念と歴史的展開①</u>	障害の捉え方と障害者福祉の理念	予習：教科書第1章第1節を読む 復習：レジユメの整理
3	<u>障害者福祉の理念と歴史的展開②</u>	精神障害者福祉の歴史的展開①明治から第2次世界大戦までの精神障害者福祉の状況	予習：教科書第1章第2節を読む 復習：レジユメの整理
4	<u>障害者福祉の理念と歴史的展開③</u>	精神障害者福祉の歴史的展開②戦後の精神障害者福祉の状況とその展開	予習：教科書第1章第2節を読む 復習：レジユメの整理
5	<u>「障害」と「障害者」の概念①</u>	制度における精神障害者の定義	予習：教科書第2章第1節を読む 復習：レジユメの整理
6	<u>「障害」と「障害者」の概念②</u>	国際生活機能分類（ICF）と精神障害	予習：教科書第2章第2節を読む 復習：レジユメの整理
7	<u>「障害」と「障害者」の概念③</u>	精神障害の「障害特性」	予習：教科書第2章第3節を読む 復習：レジユメの整理
8	<u>「障害」と「障害者」の概念④</u>	精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流	予習：教科書第2章第4節を読む 復習：レジユメの整理
9	<u>社会的排除と社会的障壁①</u>	諸外国における排除の歴史とその後の展開	予習：教科書第3章第1節を読む 復習：レジユメの整理
10	<u>社会的排除と社会的障壁②</u>	日本における排除の歴史と構造	予習：教科書第3章第2節を読む 復習：レジユメの整理
11	<u>社会的排除と社会的障壁③</u>	日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取り組み①	予習：教科書第3章第3節を読む 復習：レジユメの整理
12	<u>社会的排除と社会的障壁④</u>	日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取り組み②	予習：教科書第3章第3節を読む 復習：レジユメの整理
13	<u>精神障害者の生活実態①</u>	精神科医医療における生活への影響	予習：教科書第4章第1節を読む 復習：レジユメの整理
14	<u>精神障害者の生活実態②</u>	精神障害者の家族が置かれている状況	予習：教科書第4章第2節を読む 復習：レジユメの整理
15	<u>まとめ</u>	これまでの学習について総括し、定期試験に向けた確認を行う。	予習：教科書とレジユメの確認 復習：レジユメの整理
16	定期試験		